

カリキュラムとGraduation Policy(GP)との相互依存関係一覧表

記入者名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	実践臨床教育課程
コース等名	教育心理学コース

教育学部の教育目的(具体的に記述・箇条書き)		実践臨床教育課程の教育目的(具体的に記述・箇条書き)		教育心理学コースの教育目的	
学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。		1. 人間教育の意義を案に問い続け、時代を超えた教育の理念とともに時代に応える教育の在り方に関心をもち、学校教育、生涯教育などの幅広い分野で貢献する意欲をもつ人材を養成する。		1. 人間に対する愛情をもち、謙虚にそして真摯な態度をもって研究と実践に取り組みることができる人材を養成すること。 2. 変動する社会においても物事の本質を理解しようとする姿勢をもち、目に見えないかたちで変化する心の世界と目には見えない心の世界など、心の多様性を理解する人材を養成する。	
実践臨床教育課程教育心理学コースのカリキュラム		実践臨床教育課程のGraduation Policy(GP) (◎=GP達成のために、重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)		教育心理学コースのGraduation Policy(GP) (◎=GP達成のために、重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)	
授業科目名	授業科目の主題(箇条書き) (この授業科目における中心となる題目・問題・テーマ等を箇条書きに記入する。)	授業科目の到達目標(箇条書き) (この授業科目の学習後に到達すべき最低限の(行動)目標を学生が主語で行為動詞を使用して箇条書きに記入する。)	1. 人間教育の専門領域の基礎的知識・方法論を修得し、教育に関する問題意識と実践的能力をもって社会に貢献することができる。	2. 心理学の研究方法、心理学および臨床心理の専門領域、心理学研究の実践など、心理学全般にわたる基礎的な知識や方法を修得し、人間の発達や社会的適応などについて理解できる。	1. 心理学の観点から現象を説明するための方法や視点について理解し、目的に応じて実証的・論理的な手法を用いてデータを収集・検討するための基本的な方法論を身につけている。
総合演習	1. 人類に共通する課題や日本社会に関わる課題について学ぶ。	1. 人類や日本社会の課題を理解し、説明できる。 2. 上記の課題を分析・検討し、自分の意見を述べることができる。 3. 上記の課題についての自分の意見を相手に応じて分かりやすい形で伝えることができる。	1◎ 2◎	3◎	
心理学概論	1. 心理学の研究に必要な基本概念やデータ収集法を含む実験の実施と報告書の作成についての実習を行う。	1. 心理学とは「どのような学問か」について体系的に理解を深めるとともに、心理学的研究論文作成の基礎的能力を習得する。		1◎	1◎
心理学実験I	1. 受講生自らが設定した心理学的課題について研究計画を立て、データ収集、分析、報告書へのまとめ、研究発表を行う。	1. 自分が設定した心理学的課題について研究計画を立てたり、データを収集・分析したり、報告書にまとめること、研究発表を行ったりとすることができる。		1◎	1◎
心理学研究法	1. 心理学の理解を深めるためには、その研究方法についての理解が不可欠である。心理学の諸領域の各特性に関連する研究方法、領域間で共通する方法について、「測定すること」に焦点化する形で心理学研究方法について論議する。	1. 心理学の興つこの領域の諸問題への共通アプローチ法及び個別なアプローチ法の特徴を知り、実証的研究の在り方についての理解を深める。		1◎	1◎
心理学統計法	1. 心理学研究に必要な統計法の基礎を学ぶ。	1. なぜ統計法が必要なのかを理解できる。 2. 記述統計法と統計的検定法の基礎知識を得る。 3. 統計処理されたデータの読みとりができるようになる。	1◎ 2◎ 3◎	1◎ 2◎ 3◎	
心理データ処理法	1. パソコンの基本的な使い方に慣れ、データの特徴を解説する。 2. 表計算ソフトを使ってデータを作成し、統計ソフトを使って基礎計算や多変量計算を演習する。 3. 統計結果のプレゼンテーションの方法を修得する。	1. テキストデータとして使われるCSVファイルの扱いに慣れる。 2. Excelを使ってデータを入力でき、SPSSやANOVAによって多変量解析ができる。 3. 統計結果についてPowerPointを使ったプレゼンテーションができる。	2◎ 3◎	2◎ 3◎	3◎
障害児発達心理学	1. 人の発達の過程、障害の意味を理解する。 2. 障害のある子どもたちの心理的機能の発達の過程とその指導について学習する。	1. 人の発達の過程、障害の意味を理解できる。 2. 障害のある子どもたちの心理的機能の発達の過程とその指導について理解を深める。	1△ 2△	1△ 2△	1◎ 2◎
発達心理学	1. 人間の発達の原理・要因について理解を深める。 2. 発達段階及びその発達課題について学習する。 3. 学校・家庭・地域など身近な場面ででの発達として捉える。	1. 自己の理解の上から、発達心理学的知識を確実に吸収する。 2. 知識やデータを主体的に受け入れ、自ら考え、判断できる。 3. 日常生活に密着した興味・関心のある内容に意欲的に取り組む。 4. 心理学的研究の方法や分析など基本的な手法について理解できる。 5. 心理学を科学として位置づけることができる。	1◎ 2◎ 3◎ 4◎ 5◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	
障害児の心理	1. さまざまな障害について、その障害の心理的発達に及ぼす影響、認知的影響、パーソナリティ・社会性に及ぼす影響、指導法について概説する。	1. さまざまな障害が子どもの心理的発達に及ぼす影響、認知的影響、パーソナリティ・社会性に及ぼす影響、指導法について理解できる。	1◎	1◎	1△
幼児心理理解	1. 乳幼児期の子どもの心理を理解するための基礎的事項および研究方法等について概説する。	1. 乳幼児期の発達に関する基礎的事項について説明することができる。	1◎	1◎	1△
教育心理学	1. 学校における教育活動において子どもをどのようにとらえるべきかを概説する。 2. 児童・生徒の発達と学習の原理、個性の理解、さらに障害児・生徒の心理、教育評価についてデータに基づいて説明する。 3. いろいろな指導法や心理療法について概説する。	1. 子どもへの援助的な指導のあり方について理解できる。 2. 児童・生徒の発達と学習の原理、個性の理解、さらに障害児・生徒の心理、教育評価における理論について、データに基づいた見方ができる。 3. いろいろな子どもにも沿った指導法や心理療法があることを理解できる。	1◎ 2◎ 3◎	1◎ 2◎ 3◎	2◎ 3◎ 1◎
学習心理学	1. 教育現場における「学習」の基本的な捉え方と内容について概説する。	1. 学習心理学がどのようなものであるかについて理解できる。	1◎	1◎	1◎
認知心理学	1. 認知心理学が起るまでの心理学の流れを概説する。 2. 認知心理学の理論は知的活動からコンピュータにならえてモジュール化したものであることを概説する。 3. 子ども学習について、認知心理学に基づいて概説する。	1. 認知心理学が起るまでの心理学の流れを理解できる。 2. 認知心理学についての理論は、知的な活動をコンピュータにならえてモジュール化したものであることを理解できる。 3. 子ども学習における実際のデータについて、認知心理学に基づいた理解ができる。	3◎	2◎ 3◎	2◎ 3◎
老年心理学	1. 高齢者に関わろうとする者は、高齢者の心理状態を理解することで適切な援助を行うことができる。高齢者の主観的体験と客観的状況を理解するとともに、高齢者に関わる者の心理状態にも検討を加えることで、老年というものを多面的に検討する。	1. 高齢者の心理的変化や心理的状況を説明できる。 2. 高齢者との関係の持ち方を工夫できる。 3. 高齢者の立場で物事が判断できる。	1◎ 2◎ 3◎	1◎ 2◎ 3◎	
人格心理学	1. 「人格：パーソナリティ」に関して、その基礎理論から最近の理論までの概説を行う。 2. 特に、精神分析と乳幼児精神医学の視点を取り入れながら、「人格」との問題について、さまざまな社会現象と関連させながら講義を進める。	1. 自分自身の人格の形成・現在の特徴・今後の方向性について必要な知識や理解を深める。 2. 人格を多面的に判断できる視点を形成する。 3. 自己を知るための自己理解への能動的姿勢を取れる。 4. 自己理解へのヒントを得ることができる。	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎	2◎ 3◎ 4◎
社会心理学	1. 社会的存在としての人間が、他者との相互関係においてどのような行動傾向や特徴を持つかについて理解を深める。	1. 基礎的な社会心理学概念を理解できる。 2. 基礎的な社会心理学の理論を理解できる。 3. 基礎的な社会心理学概念と理論を用いて、人間行動を説明できる。		1◎ 2◎ 3◎	
集団心理学	1. 組織の機能と人間の関わりについて理解を深める。 2. 集団における人間行動について理解を深める。	1. 組織における人間行動の特徴を理解できる。	1◎	1◎	

生体心理学	1. Mind-Body Questionについて理解を深める。 2. 日常生活における生活体の諸変化のメカニズムについて学習する。 3. 生理心理学的手法によるデータの分析について知る。	1. 心身相関のメカニズムに関する知識を確実に吸収する。 2. 認知と知覚の関係について知る。 3. 神経システムと内分泌系について学習する。 4. 動機づけと情緒反応について学ぶ。 5. ストレス、睡眠、脳波など今日のテーマについて関心を深める。			10 20 30 40 50		
健康心理学	1. 人間の健康生活について概観する。 2. 人間の心身の機能的背景やメカニズムについて理解する。 3. 健康心理学的手法によるデータの分析について知る。	1. 健康心理学に関する知識を確実に吸収する。 2. 知覚やデータを主体的に受け入れ、自ら考え、判断できる。 3. 日常生活に密着した興味・関心のある内容に意欲的に取り組める。 4. 健康心理学的研究の方法や分析など基本的な手法について理解できる。 5. 健康心理学を科学として位置づけることができる。			10 20 30 40 50		
心理アセスメント	1. 心理アセスメントとは何かということについて理解を深める。 2. 心理テストにはどのようなものがあるかということについて理解を深める。 3. さまざまな心理テストを実際に施行してみることに心理テストの意義・目的を習得する。	1. 心理アセスメントについて説明できる。 2. 心理テストについて説明できる。 3. さまざまな心理テストのやり方を習得できる。 4. 心理テストの解釈の仕方を習得できる。	1◎ 2◎	3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎	
生徒指導概論	1. 中学・高校生の思春期から青年期にかけての発達課題に、教師は、また学校はどのような役割を担うべきかを探る。 2. 理論的にその視点や方法、原理の構造を学ぶ。また、実践記録の分析を通してそれを探る。 3. グループ学習、グループ討議を組み立ててその内容を共同で探ると共に、対話、討議、討論の実践的力を養う。	1. 生徒指導の基本理念・基本概念・基本方略を理解できる。 2. 自らの言葉で「生徒指導・生活指導」について発言・論述できる。 3. 討論に積極的に参加できる。	2◎		1◎ 2◎ 3◎		
カウンセリング論	1. カウンセリングの基本的な枠組みやさまざまな理論・技法について学ぶ。	1. カウンセリングの基本的な概念や理論および技法について説明することができる。	1◎	1◎	1◎	1◎	
カウンセリング実習	将来臨床心理士やカウンセリング関連の領域を希望する学生に対して、カウンセリングの基本的な技法について実習を行う。 2. 特に、参加メンバーとの体験学習を通して、自己表現と他者の気持ちの理解の向上を中心に学ぶ。	1. 実際の体験学習を通して、講義だけでは理解できない心の世界に理解を深める。 2. カウンセリングに必要な「今、ここで」の体験過程を体得する。 3. 自分自身、あるいは広く人間の心の世界への関心を深める。 4. 自らの自己や他者への能動的に関わる態度を養成する。	1◎ 2◎ 3◎ 4◎		1◎ 2◎ 3◎ 4◎	2◎ 3◎ 4◎	
教育相談・進路指導	1. 生徒指導と教育相談の違いについて説明する。 2. 学校における不登校、いじめ、非行などさまざまな問題に対する基本的姿勢について概説する。 3. 臨床心理学のさまざまな技法について概説する。	1. 生徒指導と教育相談の違いについて理解する。 2. 不登校、いじめ、非行などさまざまな問題の原因を理解し、それらに対する基本的姿勢を身に付ける。 3. 臨床心理学のさまざまな技法について基本的技法を理解する。	1◎ 2◎	1◎ 2◎ 3◎	2◎	1◎ 2◎ 3◎	2◎ 3◎
臨床心理学	1. 臨床心理学の領域・対象、問題行動の理解の仕方、心理療法、社会資源の活用などの仕方について概説する。 2. リラクゼーションやカウンセリングに関する基礎的技法の練習を行う。	1. 臨床心理学とはどのようなものかということ概説できる。 2. リラクゼーションやカウンセリングに関する基礎的技法を習得できる。	1◎ 2◎	1◎	1◎ 2◎	1◎	
臨床心理学実習	1. 臨床心理学領域全般の中から自分が関心のあるテーマ一つを選ぶ。 2. その選んだテーマについて、文献による調べ学習を行い、発表発表する。 3. テーマの絞り込み、文献精読、発表を通して、自分なりの関心領域に関する理解を深める。 4. 発表の内容について、グループ討議を行う。 5. グループ討議を通して、臨床心理学における主要な問題領域についての関心を広げていく。	1. 臨床心理学領域全般の中から自分が関心のあるテーマ一つ引き出すことができる。 2. そのテーマに関する重要事項、症状形成のメカニズム等について説明することができる。 3. そのテーマに関する援助方法について説明することができる。 4. そのテーマ以外に、臨床心理学にはどのような問題領域があるのかについて、最低2つ以上説明することができる。	4◎		4◎	4◎	
心理職業論	1. 心理学を生かせる職業について概説する。 2. 各々の職業にはどのような知識や資質、さらには姿勢が求められるかを概説する。 3. 心理学のさまざまな職業について具体的な職務内容を概説する。	1. 心理学を生かせる職業にはどのようなものがあるか理解できる。 2. 各々の職業にはどのような知識や資質、さらには姿勢が求められるかを理解できる。 3. 自分の就きたい職業についての具体的な職務内容を把握できる。	2◎		2◎ 3◎	1◎ 2◎ 3◎	
心理学研究概論	1. 心理学に関する諸外国の文献を講読する中で、心理学の理論、研究の手法や方法、指摘・示唆している内容について理解を深め、科学としての心理学の視野を広げる。	1. 英語による文献を講読する中で、基本的な心理学についての理解を深める。	1◎	1◎			
心理学特別研究	1. 心理学の領域から、自らの関心によって課題を設定し、研究計画を立て、実際にデータを取集する。 2. 収集データを集計し、分析して、卒業論文につなげるよう研究をまとめる。	1. 心理学研究を進めるにあたり、それまで学んだ知識を生かし、これらを十分に理解して研究に取り組むことができる。 2. 単なる知識の羅列に終始することなく、自ら思考し判断して研究計画を立案できる。 3. 自分のもつ興味・関心と自らが考える研究との関連性を明らかにできる。 4. 設定した課題に積極的に取り組むことができる。 5. 心理学的研究に必要な技能を獲得できる。 6. 主観に偏らず、科学性に立脚した研究ができる。	1◎ 2◎ 3◎ 4◎ 5◎ 6◎		1◎ 2◎ 3◎ 4◎ 5◎ 6◎		
卒業研究	1. 卒業論文の完成に向けて、心理学に関する特定の課題についての理解を深める。 2. 論文の書き方を習得する。	1. 論の展開に必要な知識を持つ。根拠をもって論理的に問題を展開できる。また、根拠をもって結論を導くことができる。 2. 積極的に課題に取り組む。 3. 積極的に課題に取り組む。 4. 自分の言いたいことを適切に文章化することができる。	1◎ 2◎ 3◎ 4◎		1◎ 2◎ 3◎ 4◎		
GP項目別到達度判定方法（具体的に記述・簡条書き）							
総合的GP到達度判定方法（具体的に記述・簡条書き）							